

# 競技上のご注意とお知らせ

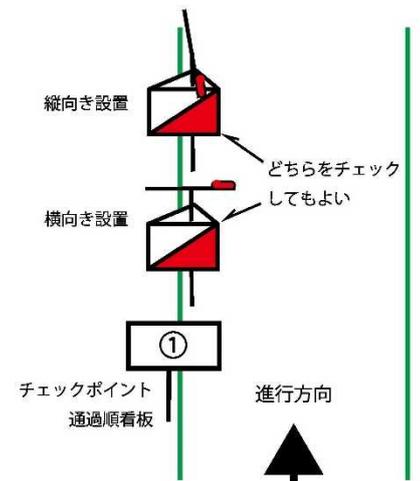
## <<トレイルランニング競技規則>>

- 主催者によって定められた山岳コースにて、個人単位のタイムレース方式とする。所要時間の短い者が上位となる。
- クラス毎にフィニッシュ閉鎖を設ける。選手はフィニッシュ制限時間内に通過しなければならない。制限時間内に通過できなかった選手は**参考タイム**となり順位がつかない。
- ストック（ポール）や杖の使用を許可する。
- 主催者は**給水所を設けない**。ただし自身で準備をしてレール中に補給することは、ゴミを残さないことを条件に制限はしない。
- 選手は、主催者によって指定されたコースに従って走行しなければならない。コースは赤白のストリーマーおよび、方向指示看板によって表示されている。また主催者側が競技運営上のチェックとして制限を設けている場合は、それに従わなければならない。
- 遭難信号を聞いた競技者は、競技を中断し、必ず救助活動を行わなければならない。これらの救助活動中に発生する競技規則違反は罰則として競技者に課せられない。
- 競技者が棄権を希望する場合には、近くの係員にその旨を報告し、Ecardを提出すること。
- 競技規則に違反したり、係員の指示に従わなかったりした競技者は失格となることがある。
- 競技者が自分自身・あるいは第三者に与えた損害・損失等について、主催者は一切その責任を負わない。

## <<ローカルルール>>

- 今回のコースは**左側通行**とする。競技者どうしが交差するポイントでは、特別な理由がない限り左側通行を基本とする（危険回避行動等ではその限りではない）。前走者を追い抜く場合は、事前に声をかけ、**右側から追い抜くこと**を基本とする。声をかけられた競技者は、左側によけることを基本とする。
- タイム計時の方法はEMIT社製Ecardを使用する。また各コースの通過証明もEcardで行う。タイムの計測および各チェックポイントの通過確認は**選手の自己責任**で行う。Ecardでタイムおよび通過確認ができない場合は、参考タイムまたは失格となることもある。なお競技中にEcardを紛失した場合は失格となる。
- 10kmクラスは、5kmコースを2周するため、同じチェックポイントを2回チェックすることとなる。具体的には、10kmクラスは①→②→③→・・・→⑨→5.0km→①→②→③→・・・→⑨→Finishとなる。ちなみに5kmクラスは①→②→③→・・・→⑨→Finishとなる。
- 今回、各チェックポイントは、すべて**進行方向に対して左側に2個設置**されている。どちらのチェックポイントをチェックしても良い。
- 新型コロナウイルスの対策に関して、**屋外の競技中における競技者のマスク着用に関しては、競技者の自己判断とし、主催者はマスクの着用を強制しない。**

クラス	10km	5km	ヒルクライム
通過確認のためのチェックポイント数	19	9	0



## <<マナー>>

- 競技者はゴミを捨ててはならない。
- 競技者は競技会場で火を扱ってはならない。
- 競技者はコース上でタバコを吸ってはならない。
- 競技者は植物あるいは動物の生態系を過度に破損・妨害してはならない。

## <<競技の中断または中止判断基準>>

- 下記の理由により、主催者が大会の開催、継続が困難と判断した場合、大会を中断または中止します。
  - (1) 気象警報：羊蹄山麓に大雨、洪水、暴風警報のいずれかが発令された場合
  - (2) 公的機関から中止要請がある場合
  - (3) 気象条件や他の条件により、主催者が大会の開催、継続が困難であると判断した場合
    - ・雷が近いとき
    - ・崖崩れ、落石、暴風、倒木など、競技者とスタッフの安全を確保できないとき
    - ・荒天下などで競技者の通過によって自然環境を損なう可能性があるとき
    - ・その他、主催者が中止すべきだと判断したとき
- 大会の中止・中断の判断は、大会公式サイトなどで発表します。

## 計測機器（EMIT 社製 Ecard）について



～EMIT 社製 コントロールカード～

持ち方のオススメは、左右どちらかの薬指にバンドをかけ、手のひらの中に握りこむと、持ち替えることが無くなる。

バックアップラベル（コントロールカード裏面の紙）に、針で穴があくように接触させると、通過記録が必ず残る。

～コントロールユニット～

～コントロールフラッグ～

コース中のチェックポイントに設置。

コントロールカードに通過記録が残っていないと、チェックポイントの通過は認められない。

ただしコントロールカードやコントロールユニットが故障した場合のみ、バックアップラベルで救済を行う。バックアップラベルにも通過記録（針の穴）が残っていない場合は通過を認められない。

チェックポイント不通過の場合＞参考記録

※スタート周辺に見本があります。必ず確認をしてください。

※Ecard の使い方説明動画（Youtube です） →→  
<https://youtu.be/zKx7BoeoTfk> →→



※今回、各チェックポイントは、すべて進行方向に対して、左側に2個あります。

- トレイルランニングにおいて、走行しなければならないコースを示す、赤白のストリーマーおよび方向指示看板の一例です。

